



令和8年 新年のごあいさつ

弥富市長 安藤 正明

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げますとともに、日頃より市政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、第2次弥富市総合計画「後期基本計画」の2年目として、「わたしとみんなの未来計画」を着実に推進してまいりました。JR・名鉄弥富駅自由通路等整備事業につきましては、令和11年度中の供用開始に向けて計画どおりに進捗しており、市の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりが着実に前進しております。

また、防災・減災対策につきましては、地域コミュニティや自主防災会と連携した取組により、市民の皆さまの防災意識の向上が図られ、災害に強いまちづくりが進展してまいりました。

しかしながら昨今は、本格的な人口減少・少子高齢化の進行、社会経済情勢の変化など、本市を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。本年もこうした課題に真摯に向き合い、後期基本計画に基づき、市民の皆さまとの協働のまちづくりをより一層推進してまいります。

特に、子育て支援や高齢者福祉の充実、地域産業の振興、教育環境の整備など、市民の皆さまが安心して暮らし続けることができる施策を積極的に展開するとともに、デジタル化の推進により、市民サービスの更なる利便性向上を図り、誰もが快適に暮らせるまちづくりを目指し、持続可能な行財政運営の確立に向け、第5次行政改革大綱に基づく改革を着実に進めてまいります。

結びに、本年は午年です。馬が力強く大地を駆けるように、弥富市も新たな時代に向けて着実に歩みを進めてまいります。市民の皆さまが弥富市に暮らすことで幸福を感じていただけるよう、職員一同、誠心誠意、市政運営に取り組んでまいりる所存でございます。新しい年が、皆さまにとりまして、健やかで笑顔あふれる充実した一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

本年も、市政運営に対する一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年 元旦



謹賀新年

弥富市議会議長

堀岡 敏喜

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会運営に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、議員一同、厚く御礼申し上げます。

令和6年3月に新たな顔ぶれでスタートした弥富市議会も折り返しとなり、初春を迎え、地域の発展と市民の幸福を追求するために、引き続き尽力してまいりたいと決意を新たにしております。

さて、昨年は、記録的な酷暑が長く続き、体調管理や生活面で大変な一年となりました。

熱中症対策や節電への取り組みなど、日々の暮らしの中で、多くの工夫とご努力を重ねてこられたことと思います。

そうした厳しい気候の中でも暮らしや地域活動をしつかりと続けてこられたことに心から敬意と感謝を申し上げます。

改めて、市民一人一人の温かさと地域の結びつきが、本市の強みであると感じております。

本年は、市制施行20周年という大きな節目を迎える年です。

これまで多くの市民の皆さまや関係者のご尽力と絆により築かれたまちの発展に感謝するとともに

に、次の世代へとつながる新たな一步を踏み出す年でもあります。

本市議会では、「より良いまちづくり」を目指し、限られた財源の中で真に必要なとされる施策をより効果的なものとなるよう、令和7年4月から議会自らが課題を見つめ調査・研究を重ねる「所管事務調査」を行い、市長や行政に提案する「議会政策提言」に取り組んでいます。

また、課題の解決に向け、市民の皆さまの声を直接伺う機会の一つとして、本年も「議会カフェ（議会報告会）」を継続してまいります。

より身近な議会、開かれた議会とすることや議会活動に反映させるとともに、市議会の改革・活性化に引き続き取り組み、市民全体の福祉の向上および市政の発展のため、誠心誠意尽くしてまい

る所存であります。結びに、本年が市民の皆さまにとりまして、笑顔輝く素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

令和8年 元旦



丙午（ひのえ・うま）

弥富市教育委員会 教育長 高山 典彦

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。また、旧年中は本市の教育行政に深いご理解と多大なご支援を賜り誠にありがとうございました。

今年は令和8年。古くから用いられている言い方では「丙午（ひのえ・うま）」に当たります。「丙」は「火の兄」という意味で「強く燃えさかる」様子を表し、「午」は「太陽が一番高く昇る正午」で用いられるように、「勢いが最も強くなるタイミング」だそうです。これらのことから、「丙午」の年は、物事を進める情熱が最も強く表れそれを推し進めるタイミングだと言われています。

教育委員会としても、これまで強い情熱をもって踏み出した事業が、市民の皆さまのご支援により、さらに勢いを増し、まさに実現に向かっていくタイミングとなる年といえます。

○図書館リニューアル工事

現在、図書館を中心としたまちなか交流館のリニューアル工事を進めています。工事中は市民の皆さまにご迷惑をおかけしていますが、工事完了後は、「誰もが気軽に立ち寄れる、ワクワクする空間」に生まれ変わります。また、よりよいサービスを提供するために、窓口運営業務などを民間に委託すると

もに、同じ施設内にある歴史民俗資料館やYatomi AQUA、観光課、NPO法人「やとみつけベース」などと連携して、魅力あふれる空間となります。

○よつば小学校開校準備

令和10年4月に開校するよつば小学校の新築校舎建築工事が順調に進んでいます。併せて校歌やスクールバス、子どもたちの交流活動なども具体的に進めていきます。詳細は、その都度、市ホームページなどで発信していきます。

○放課後の居場所づくり

国が進める「中学校部活動の地域展開」を推進するために設立された「NPO法人やとみ放課後アカデミー」と連携を取り、令和9年9月に休日部活動を停止した後のさまざまな活動を創出し、中学生の燃えるエネルギーを発揮できる居場所をつくります。

皆さまにとりまして、今年が、燃えるような思いが具体的な形に変わる、節目の年となりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和8年 元旦



弥富市
教育委員会 X